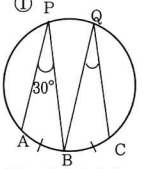
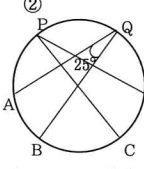
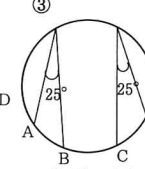


◆具体的な学習指導案3 (平成11年11月 船引中学校で実施)

	学習内容・活動	一斉	一斉	○指導上の留意点 ◆評価
課題把握	<p>1 本時の学習課題が分かる</p> <p>(1) 既習事項の復習                      &lt;復習&gt;次の問題の角の大きさや弧の長さを求めなさい。                      ①  ②  ③ </p> <p>AB=BCのとき、<math>\angle BQC</math>は何度か。                      AB=CDのとき、<math>\angle CPD</math>は何度か。                      ABの長さを3cmとすると、CDの長さは何cmか。</p> <p>(2) 課題を知る。                      ■課題:1つの円で弧 <math>\widehat{AB} = \widehat{BC} = \widehat{CD}</math> になるように、点A、B、C、Dをとる。さらにACとBDとの交点をEとすると、<math>\triangle BCE</math>は二等辺三角形になる。このことを作図して証明せよ。</p>	一斉	7分	<p>◆円周角と弧の関係が理解できたか。</p> <p>○机間指導をしながら個別に援助する。                      ・下位の生徒中心                      ○班で解答させるようにする。                      ○班で発表させ、確認させる。                      ○A、B、Cの順に点をとらせるようにする。</p>
課題解決の見通し	<p>2 課題を解決する方法を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作図する。</li> <li>・仮定と結論が分かる。</li> <li>・証明の手順が分かる。</li> </ul>	個別	8分	<p>○机間指導をしながら、個別に援助する。                      ・下位の生徒中心                      ◆作図ができたか。                      ◆仮定と結論が分かるか。                      ◆証明の手順が分かるか。</p> <p>○班で確認させる。                      ・図、証明の手順</p>
課題追求	<p>3 課題を解決する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭で述べることができる。</li> <li>・記述する。</li> </ul> <p>・発表する。</p>	個別	22分	<p>○班での話し合いにより、証明の不得意な生徒にも、証明の流れが分かるようにする。                      ・証明の流れをメモさせる。                      ◆口頭で述べることができたか。                      ◆記述できたか。</p>
まとめ	<p>4 問題演習する</p> <p>■課題:1つの円で、平行な弦 <math>\widehat{AB}</math>、<math>\widehat{CD}</math> にはさまれたAB、BDの長さは等しいことを証明しなさい。</p> <p>5 次時の学習内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直角と円周角</li> </ul>	一斉	13分	<p>○ヒントが必要な生徒には、次の既習事項を確認させる。                      ・補助線の引き方                      ・平行線の錯角                      ・円周角と弧の性質                      ◆証明ができたか。                      できた順からプリントを提出させ、チェックする。                      ○課題が終了していない生徒には、次時までの指示をする。</p>